

平成30年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕	
プロジェクトの名称	地域の公立校のモデルとなる義務教育学校の在り方	
報告者氏名・所属・職名	附属釧路小学校・校長 内 山 隆	
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	附属釧路小・副校長・林 政 孝 主幹教諭・遠 藤 直 人 研究主任・高 瀬 航 平 教 諭・齋 慎 之 登 藤 珠 実 長 屋 樹 廣 羽 石 紀 之 中 村 有 佐 山 崎 博 幸 中 村 謙 太 種 田 育 未 溝 渕 英 里 程 野 純 貴 田 中 美 穂 棚 谷 智 実 朝 日 佳 菜 美 養護教諭・小 野 江 里 子 栄養教諭・栗 栖 莉 奈 講 師・鈴 木 大 輔 竹 内 彩 乃 大 澤 征 矢 大 橋 祐 亮 山 口 亮 ダレン・ホーク 附属釧路中・校 長・早 勢 裕 明 副校長・小 林 一 博 主幹教諭・村 岡 愛 司 研究主任・齊 藤 貴 文	附属釧路中・教 諭・相 馬 利 栄 更 科 結 希 本 間 元 章 氏 家 拓 柴 田 題 寛 三光桜 正 洋 野 口 朝 央 吉 岡 康 一 朗 造 田 あ か ね 山 本 勇 太 足 立 英 世 赤 本 純 基 細 野 歩 眞 島 良 太 養護教諭・木 須 千 明 講 師・大 西 美 衣 子 遠 藤 誠 安 田 裕 希 佐々木 来 望 スティーブ・グッド 大学院高度教職実践専攻・教 授・寺 嶋 正 純 特任教授・近 藤 逸 郎 梅 本 宏 之 教 授・安 川 禎 亮 准教授・安 井 智 恵 森 健 一 郎 教育学部・教 授・内 山 隆 早 勢 裕 明

研究内容及び成果の概要

①小中9年間の学びの系統性の確立
 「自ら学ぶ意味を創造できる児童・生徒の育成」を研究主題とした、小中連携研究（第5/5年次）として、その成果を発表した。

②地域の特色を生かした体系的で教科横断的な「地域学」カリキュラムの作成
 研究紀要に、資料として、「小学校：学年・学級経営年間プログラム」「中学校：横断的カリキュラム見取り表」を添付し、公立校等において活用できるようにした。

今後は、右図の構想の下、既存の小学校における阿寒自然体験学習、中学校のキャリアパスポートをベースに、一層の改善充実を図り、公立校でも活用できるカリキュラム・モデルを示すことができるようにする。

<「地域学」の構想> 見つける、関わる、探究する、協働する、価値を創造する

The diagram illustrates the 'Regional Studies' concept. It features a large blue arrow pointing right, labeled '持続可能な社会づくりの担い手育成 (ESD, SDGs)'. Inside this arrow, on the left, is a box for '総合的な学習' (Cross-curricular learning) which includes '阿寒総合単元' (Arkan integrated unit), '前田一步団財団との協働プロジェクト' (Collaboration project with Maeda Ichibu Foundation), '学年開発総合単元' (Year-based integrated unit), and '総合自由学習' (General free learning). On the right side of the arrow is a yellow box labeled '価値創造型CS' (Value-creating CS) with the subtext '新たなコミュニティスクールのモデル' (New model of community school). Below the main arrow are several smaller boxes representing community partners: '町内会' (Town Meeting), '商店会' (Retailers Association), '道立青少年体験活動支援施設' (Youth experience support facility), '前田一步団財団' (Maeda Ichibu Foundation), '博物館' (Museum), and 'NPO NGO'.

③異学年間協働学習モデルの作成

義務教育学校準備委員会が中心となって、「校舎外清掃」や「花いっぱい運動」といった協同的な活動に加え、「中学生による小学生への合唱指導」「小学校生活科と中学校美術科の関連を図った指導」などの実践を試行することができた。



④学年複数学級配置校における教科担任制の実現の系統性の確立

小学校全学年の音楽科と図画工作科の専科、第6学年の外国語科の中学校教諭による乗入、中学校における学校裁量問題対策への小学校教諭の協力を実施した。

小学校高学年の一部教科における教科担任制の実現に向けた教員配置モデルを、小・中学校それぞれの教員定数を含めて、平成32年度人事を見据えて提案できるよう準備を進めている。

⑤義務教育学校における効率的・効果的な組織体制の確立

右図のような推進スケジュールを確認した。

⑥教員研修モデルの確立

子供が「何をどのように学んでいたか」という事実から授業を語り合うことで授業改善を図るとともに、教員一人一人の力量形成を図る研修の在り方を試行した。また、この研修は、短時間で数多く開催することとし、次年度以降も引き続き取り組む。



成果の公表の状況

- 【著書】 平成30年度 北海道教育大学附属釧路小・中学校教育研究会 研究紀要, 全122頁
- 【学会】 野外文化教育学会第19回大会 (2018. 11. 4 (日) 於: 日本女子大学)
シンポジウム: 地域の自然・文化・歴史を活かした教育活動
発表テーマ: 地域に根差したE S Dを志向する北海道教育大学附属釧路小学校の年間プログラム
- 【予定】 2019年度 附属学校連絡協議会における実践発表 (2019年6月1日)

教育現場で活用可能な分野・教材等

学ぶ意味を創造する (自律性を育む) 教科等の指導の在り方
学ぶ意味を創造する (自律性を育む) 教科等横断的な学習のカリキュラム

配布又はダウンロード可能な資料	附属釧路小学校ホームページ http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_kus_syo/ 附属釧路中学校ホームページ http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_kus_chu/
問合わせ先	代表者: 林 政 孝 電 話: 0154-91-6322 FAX : 0154-91-6324 mail : hayashi.masataka@k.hokkyodai.ac.jp